



Top Interview

新市長 宮橋 勝栄

みや はし しょう えい

新市長プロフィール

宮橋 勝栄
昭和54(1979)年 生まれ

出身校
松東中学校、小松高校
立教大学観光学部

主な公職
2011年5月～2017年3月
小松市議会議員(2期目途中で辞職)
2021年4月～
小松市長就任

特集 宮橋市政がスタート ～変えていこう 新しい小松へ～

宮橋勝栄市長が4月13日に就任し、新市政がスタートしました。県内の現役首長としては最年少(41歳)で、その手腕と行動力に大きな期待が寄せられています。「大好きな小松をもっと良くしたい!」と語る宮橋市長に、今後の方針や展望についてうかがいました。

市政運営にあたって

皆様からのご信任をいただき、重責を担わせていただくこととなりました。その職責の重さと多くの期待に、身の引き締まる思いです。

「変えていこう 新しい小松へ」のフレーズには、変革する情勢に適応しながら、新時代を切り拓いていく上での決意が込められています。

コロナの克服はもちろん、到来するデジタル化に適応して、まち全体の元気と幸せを見つけていくことが私の使命だと実感しています。

そのために、現状を打破するチャレンジを推し進めます。新しい技術や手法などを取り入れ、考え方を柔軟に変化し、新しい発想やアプローチを応援していきます。

また、チャレンジを進めるにあたっては、皆様との協働を積極的に図り、対話を重視してコミュニケーションを深めてまいります。

安心できるコロナ対策を

最優先で進めたいことは、健康と暮らしに関わるコロナ対策です。

感染の不安を払拭するため、国・県などの連携を進めて感染症対策と情報開示を徹底していきます。

また、臨時給付金や事業支援などの経済対策を速やかに行い、市独自の抗原検査で早期発見に努めます。

現在、ワクチン接種の取り組みを進めていますが、様々な意見がある中、接種するかどうかを一人ひとりが判断できるように、常に情報提供していく必要があります。

そして、接種の有無を理由に不利益な扱いを受けさせないための配慮も大切です。

いずれにしても、情報をしっかりと提供することで、少しずつ不安を解消し、皆様の安心と信頼の醸成に努めていきます。

トップセールスで成長をけん引

小松市の成長を支えるためには、産業面でのチャレンジが必要です。その一つとして重要なことは企業誘致であり、私はトップセールスとして先頭に立つて行動します。

3年後には北陸新幹線小松駅が開業します。新幹線駅と空港が近接する立地は、交通・輸送面で大きな強みです。この優位性を武器に魅力を伝えることで企業誘致を働きかけてまいります。

また、小松市には「ものづくり」の高度な技術力が集積しています。こうした基幹産業に加え、様々な業種・業態にも手厚い支援を行うことで、バランスの取れた産業基盤づくりを進めていきます。

そして、デジタル化・リモート化が進み、ビジネスの形態や仕組みが大きく変革しつつあります。新しいビジネスにチャレンジする企業を幅広く応援することが必要です。

にぎわいと活気を取り戻す好循環の仕掛けづくりを、皆様と共に進めたいと考えています。

皆様と進める未来型図書館の構想

未来型図書館に関しては、多くの関心と期待が寄せられています。

建設場所や規模などの具体案については今後、対話や検討を重ねて構想を着実に描いていきます。

求められるサービスは図書館だけではなくありません。学びや憩い、心地よい交流を生み出すなどの多面的な機能の確保、新しい価値の創出が期待されています。

「これからの小松市にとって必要な未来型図書館とは?」というテーマについて、発想を限定させることなく、多種多様な意見を取り入れていきたいと思っています。その発想は無制限です。皆様のアイデアを元に形作られていく、まさにこれからの協働のまちづくりと言えるのではないのでしょうか。

合わせて、各校下の発展に向けた地域ビジョンの策定を推し進めます。これにより地域の課題を共有し、あらゆる切り口から解決のお手伝いをさせていただきます。

「これからの小松市」のビジョンを、対話を通じて創り上げていきます。

北陸新幹線小松駅開業とよりよい広域連携へ

北陸新幹線小松駅開業を目前に、駅舎や駅周辺の開発が進んでいます。

進行中の案件を含め、検討が必要なアーケード街などは関係者の皆様と検証を重ねながら、最良の結論を導くよう鋭意努力してまいります。

そして、新幹線効果を市内全域に波及させて利便性を高めるためにも、駅・空港間と市域をつなぐ公共交通のあり方について包括的に見直していきます。

また、近隣自治体と共に新幹線効果を享受する意味でも、生活圈(通勤・通学)として往来が多い能美市や加賀市との連携強化は重要であると考えています。

中でもお互いを行き来する交通体系は有益です。交通ネットワークの強化を柱に、広域での相互観光や子育て・教育面での交流などを進めます。これまで以上にお互いの温泉郷や施設を訪れやすくなり、往来や利用が進むことで、市民同士の交流促進とさらなる連携の機運が高まるものと期待されます。

様々なアイデアで地域内外の交流や経済の循環を高め、多くの人々が小松市を訪れるようになっていきます。

市民の皆様へメッセージ

今回の選挙にあたり、55の政策を掲げています。これらは行政を支えてくれる職員と力を合わせて、一つ一つ実現していく決意であります。

そして、私自身が率先して地域に出向き、皆様とのコミュニケーションを深め、対話を積み重ねていく所存です。そうして現場の実情を知り、政策をさらに磨き上げてまいります。

市政を預かる中で、困難に直面することも多いでしょう。しかし、できない理由を考えるのではなく、皆様の声に耳を傾け、本当に小松市の発展、皆様の幸福のためにすることを真摯に考え、最善の答えを導き出すよう取り組んでいきます。

広く市政の情報を公開し、気軽に参画いただけるような開かれた市政を展開してまいります。

どうか、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。